

令和7年度 こべっこあそびひろば・岡場の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	就学前児童とその保護者の居場所として、子育て支援や相互の交流に資するために設置される施設であり、具体的には、親子で集い、室内の遊具などで安心・安全にのびのびと遊ぶことを通じて、子どもたちの健やかな成長や子育て中の親子の相互の交流の機会を創出する。
(2)事業内容	主に下記5点を実施している。 ①就学前児童及び保護者が気軽に集い、相互に交流できる室内の遊び場を提供。 ②絵本やブロック等の様々な種類のおもちゃや大型遊具を設置。 ③子育て相談を行い、必要に応じて適切な行政機関等へ紹介する。 ④子育てに関する情報発信 ⑤授乳室やこどもトイレなどを設置し、子どもと外出をサポートする。
(3)施設内容	エコール・リラ(南館5階)に拠点を構え、307.68㎡の面積を有する施設。 デッキ遊具などがあ「動のあそびひろば」、絵本を読んで過ごす「静のあそびひろば」、乳児のための「赤ちゃんのひろば」など設けている。

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	社会福祉法人みのり福祉会
(2)指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 2 ）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)20,268,000円（決算額）20,268,000円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績									
(1)管理実施状況											
①施設の維持管理業務		・各回の入れ替え時間内に清掃を行うとともに遊具の点検を実施。利用者の触れるところは 全て用途に合わせアルコールまたはオスバン液で消毒を実施。玩具は、使用したものを全て殺菌庫に入れるかアルコールで消毒をした。 ・エアコンの室内機を3か月に1回目視点検、清掃を実施。									
②施設の運営業務		・職員は1日4人配置。うち2名以上保育士資格を保有した経験者を配置。 ・各回総入れ替え、定員100名。当日9時より整理券の配布。整理券は1回分のみ渡す。但し利用後空気があれば、もう1回利用可能。 ・施設内の安全管理の一環として防犯カメラを6台設置し、トラブル、怪我の際に確認している。また、玄関付近にサーマルカメラを設置し入場時に検温し、感染症拡大防止に努めている。職員全員がインカムを付け連絡を取り合い、利用者の状況を周知する。また、職員伝達ノート・苦情処理簿・相談記録・ヒヤリハット事案記録などを活用したり職員会議を実施し職員間の情報共有に務めた。									
③自主事業等		・相談室を設置し、希望があれば育児相談を実施。また、気軽に相談できるよう利用者に声をかけたり、あそびながらも話をしたり、初めての方でも相談ができるような雰囲気作りを心がけた。特に平日は利用者が定着しているため、保護者とともに子どもの成長を見守り、話しやすい環境を作っていた。話が長くなりそうな場合は、別のスタッフに伝達し子どもを見守れるように連携をとった。 ・北神区役所の保健師、保育サービスコーディネーターの方と連絡を取り合い、子育てに関する相談窓口になれるよう相談会や座談会、講習会などを定期的に開催した。 ・相談は職員一人では対応しきれない場合はその分野にたけている職員に代わったり、一人でなく2人で話をしたりした。 ・「神戸ファミリー・サポート・センター」のパンフレットやこどもとKOBÉのシールを常時手に取れるようにするとともに、適宜配布した。 その他、こべっこランドや他のこべっこあそびひろばのパンフレットや無料のイベント、子育て関連のパンフレットを入り口受付に設置し必要に応じて持ち帰っていただけるようにした。 ・同年齢の乳幼児親子が交流し、子育てに関する話や育児相談ができるよう、年齢別(0歳/1歳/2歳以上)のイベントを毎月実施した。									
(2)利用状況											
①施設の利用者数		▼ 利用者数（算出方法：月報集計）＊平日1日当たりの平均利用者数									
目標		200人	実績	178人	要因	春・秋の過ごしやすい季節や午後など、利用者が少なくなる時期・時間帯において、原因の分析や、利用促進のためのイベント実施等の運営上の工夫が必要だった。					
		▼ 利用者数（算出方法：月報集計）＊休日1日当たりの平均利用者数									
目標		300人	実績	306人	要因	近隣商業施設の利用の前後にひろばに寄ってもらえるような、魅力的な空間づくりや広報に取り組むことができたためと考えられる。					
(3)収支状況											
①使用料収入		目標		実績		要因					
①利用料金収入		目標		実績		要因					
②収支バランス		収入		20303 千円	支出		20223 千円	収支の差	80 千円	目標	達成
		指定管理料		20268 千円	人件費			備品費		提案額から大きな乖離もなく、執行できているため。	
		その他		35 千円	警備費			管理業務費	16582 千円		
					清掃費			事業運営費	1674 千円		
					設備費			事務管理費	1727 千円		
					修繕費			施設遊具管理費	150 千円		
					光熱水費			その他	90 千円		

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和8年1月26日～令和8年2月26日(計約1か月間)				
	調査方法: アンケート集計				
	回答者数: 95				
	設問数: 13				
	主な質問項目: 施設の設備やサービス内容等に対する満足度				
②結果(満足度)	▼ サービス内容の満足度 (算出方法: アンケート集計)				
	目標	90%	実績	98%	要因 毎月のプログラム内容や、おもちゃが充実している点などに好評をいただいている。
	▼ 施設利用の満足度 (算出方法: アンケート集計)				
	目標	90%	実績	99%	要因 衛生面について好評をいただいている。
	▼ 職員対応の満足度 (算出方法: アンケート集計)				
	目標	90%	実績	100%	要因 利用者に対する職員の対応、声掛けや距離感、相談のしやすさ等について好評をいただいている。
③主な意見・苦情、対応	清潔で安心して遊ばせられる、といった意見も寄せられている一方、一回あたりの人数が多く窮屈に感じる点などもあり、引き続きニーズの把握に努め、対応を検討する。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めていない事項を自主的に実施し、施設の設置目的に合致する効果がややあったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	30 点	0.8 (提案をやや下回る)	24
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	20 点	1.2 (提案をやや上回る)	24
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計 98 点
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			総合評価 A

令和7年度 こべっこあそびひろば・六甲アイランドの管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	就学前児童とその保護者の居場所として、子育て支援や相互の交流に資するために設置される施設であり、具体的には、親子で集い、室内の遊具などで安心・安全にのびのびと遊ぶことを通じて、子どもたちの健やかな成長や子育て中の親子の相互の交流の機会を創出する。
(2)事業内容	主に下記5点を実施している。 ①就学前児童及び保護者が気軽に集い、相互に交流できる室内の遊び場を提供。 ②絵本やブロック等の様々な種類のおもちゃや大型遊具を設置。 ③子育て相談を行い、必要に応じて適切な行政機関等へ紹介する。 ④子育てに関する情報発信 ⑤授乳室やこどもトイレなどを設置し、子どもと外出をサポートする。
(3)施設内容	神戸ファッションプラザ内に拠点を構え、413.32㎡の面積を有する施設。 大型遊具を設置した「動のあそびひろば」、絵本などを読める「静のあそびひろば」、乳幼児のための「赤ちゃんのひろば」などを設けている。

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	株式会社日本ディケアセンター
(2)指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 2 ）
(4)R7年度 市支出額(単位：円)	協定締結額(当初) 24,970,000円（決算額）24,970,000円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績
(1)管理実施状況	
①施設の維持管理業務	・毎日、消毒・清掃時に遊具の不具合をチェック。 ・毎枠ごとに玩具は滅菌庫で滅菌。舐めた玩具は専用ボックスに入れ消毒後、滅菌。大型遊具やロッカー、ドアノブ等は消毒用アルコールや次亜塩素酸水などで消毒。トイレは消毒・清掃。フロアはモップで清掃。館内の忘れ物をチェック。 ・毎日閉館後、各枠後の消毒・清掃に加えて、シューズボックス等を清掃・消毒。 ・毎週水曜に1週間持続の抗菌スプレーで抗菌。 ・毎月点検日を設け、全遊具・玩具の不備・不具合を勤務スタッフ全員でチェックし報告。 ・年に一度大型遊具設置業者による遊具の安全点検を実施。
②施設の運営業務	①平日4名、土日5名配置。有資格者を必ず1名配置。 職員15名：保育士7名・幼稚園教諭6名・養護教諭1名・社会福祉士1名・子育て支援員3名 保育園勤務経験者5名・幼稚園勤務経験者4名・児童館勤務経験者1名・親子ひろば勤務経験者2名・子育て経験者13名 ②・一日5枠(1枠60分完全入れ替え制) ・1枠定員100名(ネット予約70名・当日受付30名) ・入館を開館時間の1,2分前、お片付けの音楽開始を終了時間2分前に、利用時間の満足度向上につとめた。 ・土日祝等ネット予約人数が多数の場合、受付を2列体制にし、よりスピーディーに入館していただく。 ・ネット予約枠に空きがある場合、当日受付枠にて受け付け、100名まで入館できる体制を維持。 ③・職員連絡ノートを活用し、全職員が情報を共有。・入口前付近に防犯カメラ設置。 ・毎日ミーティングを実施し、点検の結果や注意点の確認、意見交換を実施。
③自主事業等	・見守りの中で保護者に寄り添い悩みや心配事に傾聴し対応。 ・個別相談の希望者には相談室を利用。(施設長対応)。 ・東灘区保育サービスコーディネーターによる保育サービス相談会を開催。 ・東灘区地域子育て支援担当による子育て相談を実施。(療育等につなぐ) ・Instagramにて、毎月の予定・行事内容を掲載。 ・施設エントランスに子育て情報コーナーを設置。島内や市内の子育て情報誌を設置。 ・子育て情報サイト「ためまっぷ東灘」に毎月予定を掲載。 ・施設ホームページに毎月の予定を掲載、館内外に掲示、来館者に配布。 ・区役所等に施設チラシを設置。 ・六甲アイランド情報コーナーに毎月の予定を掲示。 ・親同士が気軽に交流しあえるきっかけづくりとして、絵本タイムやリズムあそび、季節に応じた制作などイベント等を随時開催した。
(2)利用状況	
①施設の利用者数	▼ 利用者数（算出方法：月報集計）＊平日1日当たりの平均利用者数 目標 200人 実績 150.5人 未達成 要因 春・秋の過ごしやすい季節や午後など、利用者が少なくなる時期・時間帯において、原因の分析や、利用促進のためのイベント実施等の運営上の工夫が必要だった。 ▼ 利用者数（算出方法：月報集計）＊土日1日当たりの平均利用者数 目標 300人 実績 330.5人 達成 要因 近隣商業施設の利用の前後にひろばに寄ってもらえるような、魅力的な空間づくりや広報に取り組むことができたためと考えられる。

(3)収支状況												
①使用料収入	目標		実績		要因							
①利用料金収入	目標		実績		要因							
②収支バランス	収入		24970 千円		支出		24970 千円		収支の差	0 千円	目標	達成
	内 訳	指定管理料	24970 千円		人件費				備品費			
		利用料金			警備費				事務管理費	1160 千円		
		その他			清掃費				管理業務費	3164 千円		
					設備費				事業運営費	15944 千円		
					修繕費				施設・遊具維持 管理費	2277 千円		
					光熱水費				その他	2425 千円		
提案額から乖離もなく、 執行できているため。												
(4)満足度調査の結果等												
①調査概要	調査期間: 令和8年1月26日～2月26日(計1か月間) 調査方法: アンケート集計 回答者数: 103 設問数: 13 主な質問項目: 施設の設備やサービス内容等に対する満足度											
②結果(満足度)	▼ サービス内容の満足度 (算出方法: アンケート集計)											
	目標	90%		実績	96%		要因	おもちゃやイベントが充実している点などに好評をいただいている。				
	▼ 施設利用の満足度 (算出方法: アンケート集計)											
	目標	90%		実績	97%		要因	衛生面について好評をいただいている。				
	▼ 職員対応の満足度 (算出方法: アンケート集計)											
	目標	90%		実績	99%		要因	利用者に対する職員の声掛けや距離感、相談のしやすさ等について好評をいただいている。				
③主な意見・苦情、対応	清潔で安心して遊ばせられる、といった意見も寄せられている一方、1枠の時間設定など、利用時間に関する要望があったことから、引き続きニーズの把握に努め、対応を検討する。											

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	30 点	0.8 (提案をやや下回る)	24
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	20 点	1.2 (提案をやや上回る)	24
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点			98 点
			総合評価
			A

令和7年度 こべっこあそびひろば・西神中央の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	就学前児童とその保護者の居場所として、子育て支援や相互の交流に資するために設置される施設であり、具体的には、親子で集い、室内の遊具などで安心・安全にのびのびと遊ぶことを通じて、子どもたちの健やかな成長や子育て中の親子の相互の交流の機会を創出する。
(2)事業内容	主に下記5点を実施している。 ①就学前児童及び保護者が気軽に集い、相互に交流できる室内の遊び場を提供。 ②絵本やブロック等の様々な種類のおもちゃや大型遊具を設置。 ③子育て相談を行い、必要に応じて適切な行政機関等へ紹介する。 ④子育てに関する情報発信 ⑤授乳室やこどもトイレなどを設置し、子どもと外出をサポートする。
(3)施設内容	西区文化センター内に拠点を構え、416㎡の面積を有する施設。 木目調の大型遊具やごっこ遊びコーナーなどを設置している。

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	社会福祉法人神戸YMCA福祉会
(2)指定期間	令和5年5月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数： 2 ）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)24,250,000円（決算額）24,250,000円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績												
(1)管理実施状況													
①施設の維持管理業務	・清掃箇所チェック表に基づき毎日室内清掃を1日6回実施。 ・衛生面からそれぞれの時間帯ごとに開始前のおもちゃの交換、併せて遊具の破損や誤飲の危険があるもの等、安全チェックを行った。 ・各々おもちゃについては適宜アルコール消毒や洗浄を行い、赤ちゃんコーナーのものは使用後はおもちゃクリーン保管庫で殺菌消毒を行った。 ・布製品のおもちゃや備品については週1回の洗濯を行った。 ・定期的な床掃除に加えノロウイルス等の流行期に関しては次亜塩素酸による床の消毒も含めてった。 ・1年間使用した器具やおもちゃの再点検、廃棄、交換などを行った。 ・大型遊具に関しては購入業者による年1回(7月)のメンテナンス点検(有料)に加え、毎月1回の定期点検を実施し、目視、触診、揺動の観点でネジの緩みや遊具の安全点検を行い点検票を作成した。												
②施設の運営業務	①職員の配置 ・現在職員の配置は平日は3～4人体制、土日、祝日は4～5人体制であるが、年度の切り替えや産休による職員の状況変化により、新たに2名の職員を加え体制の維持、強化を図った。 ・令和7年度は管理者を含め16名の職員が曜日や時間を割り振りながら体制を作っていた。(内、14名が保育士資格、幼稚園教諭免許所有者) ②楽しく安全に遊べるように定員を設定。また、1日5枠(各1時間)の入れ替え制の実施を行った。 ・平日の午前中はリビートの乳児の弟妹連れが多く、それぞれ親子のフォローができるようすべて有資格者、保育経験者で対応した。 ・長期休業中や土日、祝日、特に雨天時は家族連れが中心となり定員を超える入場者となるので職員体制増員し、初めての利用者のフォローや手作りの遊具を増やすなど多くて遊べないことがないよう工夫を行った。 ・予約入場と随時入場を併用し混雑時と通常時の利用を柔軟な対応とした。 ③安全管理の工夫 ・あそびひろば内の8か所の防犯カメラの撮影範囲や撮影角度を工夫し、安全管理を行った。 ・ひろば内でのけがや事故を防止するため、ヒヤリハット等を記録し大きなけがや事故につながらない意識と見識を高めた。												
③自主事業等	・多胎児、年子など保護者一人で複数の子ども連れてきている方への声掛け、補助、援助を行った。 ・職員の教育、保育の経験上からの援助が必要と思われる来場者への声掛け、アプローチを行った。 ・様々な声掛け、アプローチの中で、それぞれの育児に不安を抱える保護者との関係づくり、また、会話の中での「発達の遅れ」「虐待」「育児不安」等の気になるワードが出れば必要に応じて「地域子育て支援担当者」「保健師」へ情報提供を行った。 ・来場者の横のつながり等を意識して年齢別のイベントや特別プログラムを計画的に行った。また、保護者が育ちの見通しができるように0～3歳の異年齢のイベントも行った。 ・こどもの発達や高度に関するより専門的な相談ができるように臨床発達心理士による定期的な子育て子育て相談を行った。 ・地域の子育てに関する情報の場内掲示やチラシの配布(依頼や情報提供に応じて)を行った。 ・こべっこあそびひろば西神中央のホームページからの情報発信およびブログ、Instagramによる特別プログラムの告知や報告を行った。 ・Instagramによる月1回のひろばのお便り発信し、月の行事予定表や利用方法、おもちゃの紹介、利用状況等の情報発信を行った。												
(2)利用状況													
①施設の利用者数	▼ 利用者数（算出方法：月報集計）＊平日1日当たりの平均利用者数 <table><tr><td>目標</td><td>200人</td><td>実績</td><td>142人</td><td>要因</td><td>春・秋の過ごしやすい季節や午後など、利用者が少なくなる時期・時間帯において、原因の分析や、利用促進のためのイベント実施等の運営上の工夫が必要だった。</td></tr></table> ▼ 利用者数（算出方法：月報集計）＊休日1日当たりの平均利用者数 <table><tr><td>目標</td><td>300人</td><td>実績</td><td>281人</td><td>要因</td><td>春・秋の過ごしやすい季節や午後など、利用者が少なくなる時期・時間帯において、原因の分析や、利用促進のためのイベント実施等の運営上の工夫が必要だった。</td></tr></table>	目標	200人	実績	142人	要因	春・秋の過ごしやすい季節や午後など、利用者が少なくなる時期・時間帯において、原因の分析や、利用促進のためのイベント実施等の運営上の工夫が必要だった。	目標	300人	実績	281人	要因	春・秋の過ごしやすい季節や午後など、利用者が少なくなる時期・時間帯において、原因の分析や、利用促進のためのイベント実施等の運営上の工夫が必要だった。
目標	200人	実績	142人	要因	春・秋の過ごしやすい季節や午後など、利用者が少なくなる時期・時間帯において、原因の分析や、利用促進のためのイベント実施等の運営上の工夫が必要だった。								
目標	300人	実績	281人	要因	春・秋の過ごしやすい季節や午後など、利用者が少なくなる時期・時間帯において、原因の分析や、利用促進のためのイベント実施等の運営上の工夫が必要だった。								

(3)収支状況														
①使用料収入	目標		実績		要因									
①利用料金収入	目標		実績		要因									
②収支バランス	収入		24300 千円		支出		24300 千円		収支の差	0 千円	目標	達成		
	内訳	指定管理料		24250 千円		人件費		備品費		提案額から大きな乖離もなく、執行できているため。				
		その他		50 千円		警備費		管理業務費					23120 千円	
						清掃費		事業運営費					947 千円	
						設備費		事務管理費					223 千円	
						修繕費		施設遊具管理費					0 千円	
						光熱水費		その他					10 千円	
(4)満足度調査の結果等														
①調査概要	調査期間: 令和8年1月26日～令和8年2月26日(計約1か月間) 調査方法: アンケート集計 回答者数: 38 設問数: 13 主な質問項目: 施設の設備やサービス内容等に対する満足度													
②結果(満足度)	▼ サービス内容の満足度 (算出方法: アンケート集計)													
	目標	90%	実績	100%	要因	毎月のプログラム内容や、おもちゃが充実している点などに好評をいただいている。								
	▼ 施設利用の満足度 (算出方法: アンケート集計)													
	目標	90%	実績	100%	要因	衛生面について好評をいただいている。								
	▼ 職員対応の満足度 (算出方法: アンケート集計)													
	目標	90%	実績	100%	要因	利用者に対する職員の対応、声掛けや距離感、相談のしやすさ等について好評をいただいている。								
③主な意見・苦情、対応	清潔で安心して遊ばせられる、といった意見も寄せられている一方、保護者同士が交流しやすいスペース(座れる場所など)がもっとあれば良いという声があることから、これらのニーズやこどもの安全面等を考慮して、対応を検討する。													

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めていない事項を自主的に実施し、施設の設置目的に合致する効果がややあったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	30 点	0.8 (提案をやや下回る)	24
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	20 点	1.2 (提案をやや上回る)	24

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点

評価点の合計	98 点
総合評価	A

令和7年度 自立援助ホーム子供の家の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	義務教育を終了後の児童養護施設を退所した者等に対して、共同生活を営む住居において、相談や日常生活上の援助、生活指導や就業支援等を行う事業(児童福祉法33条の6)
(2)事業内容	児童養護施設等退所後の家庭がない児童や保護者の事情等により家庭にいたることができない児童等が入所し、共同生活を送りながら自立を目指すために支援を行う。
(3)施設内容	男女にエリア分けし、それぞれに個室・LDK・浴室面接室等を設けるほか、調理室、職員用の事務室・宿直室、子育て支援事業スペースを設置

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	社会福祉法人 神戸真生塾
(2)指定期間	令和7年4月1日～令和9年3月31日 (2年間)
(3)選定方法	非公募 (非公募事由:施設のあり方検討のため)
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初)84,000,000円 (決算額)84,000,000円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績										
(1)管理実施状況											
①施設の維持管理業務	建築設備、備品等の保守管理を適切に行った。また、当施設は複合施設の一部であるため、他施設との共用施設・設備の保守管理等について役割分担を明確にし、適切な管理運営を行った。										
②施設の運営業務	基準を上回る人員配置を行うとともに、夜間についても、常時2名以上の職員を配置し、不測の事態に対応できる体制を確保している。また、支援の質の向上を図るため、ケースカンファレンスや施設内研修を実施し、専門的かつ効果的な支援の提供に努めた。児童のニーズに応じて、就労、就学支援、障害福祉サービスへの移行支援、ソーシャルスキルトレーニング等、多様な支援を実施している。さらに、心理士を配置し、個別面接に加えて生活場面や日常的な関わりの中での面接を行うなど、精神的に不安定になりやすい入所児童に対するきめ細かな心理的支援を実施した。										
③自主事業等	R7年度は、心理士による子育て相談やイベント等の地域支援の実績は前年度と比較して減少したものの、引き続き心理士による相談機会を提供し、子育てに不安や悩みを抱える保護者の孤立防止に努めた。また、施設の空間を地域に開放し、親子で参加できるイベントや親同士が交流できる機会を設けることで、子育て世帯の繋がりを支援するなど、地域に向けた子育て支援を実施した。さらに、自立援助ホームとして、児童養護施設での受け入れが難しいケースの一時保護委託についても、柔軟に対応し、支援を必要とする児童の受入れに積極的に取り組んだ。										
(2)利用状況											
①施設の利用者数	▼ 利用者数（算出方法:年間延べ人数）										
	目標		実績	140人	要因	具体的な目標数はなし					
②各種事業の参加者数	▼ 子育て支援事業（概要:遊び場開放・子育て相談）										
	目標		実績	74人	要因	子育て支援事業として、心理士が地域の子育て相談に対応した。					
	▼ 一時保護委託（概要:青年期の児童や夜間の緊急受け入れなど柔軟な対応となるように行政の要望に幅広く対応した）										
	目標		実績	22人	要因	具体的な目標数はなし					
	目標		実績		要因						
(3)収支状況											
①使用料収入	目標	-	実績	2,635 千円	要因	施設の性質上、利用者数の目標はないが例年並みの利用状況であった。					
②収支バランス	収入		96,812 千円	支出		95,443 千円	収支の差		1,369 千円	目標	達成
内訳	指定管理料		84,000 千円	人件費		71,821 千円	修繕費		1,756 千円	施設の性質上、利用者目標などが設定できるものではないが、定員16名に対して常に12人程度の児童を受け入れており、神戸市で唯一の自立援助ホームの役割を一定果たしていると評価できる。収支については、上半期は提案より多くの人員を配置したこと、さらに法人独自で職員給与の処遇改善を実施したことで、事業費が指定管理料よりも大きくなっている。	
	給食費収入		412 千円	給食費		10,683 千円	車両貸借料		742 千円		
	本部借入金		12,400 千円	水道光熱費		5,194 千円	旅費研修費		425 千円		
				日用品・消耗品		763 千円	委託費		706 千円		
				医療費・衛生費		523 千円	その他		2,419 千円		
				教育・本人支給		411 千円					

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間： 令和8年6月6日～6月15日（計 10日間）				
	調査方法： 紙面配布 回収				
②結果（満足度）	回答者数： 対象者12名				
	設問数： 15項目				
③主な意見・苦情、対応	主な質問項目：スタッフ ・施設環境 ・生活について ・自立支援内容 ・その他記述式				
	▼ 施設職員に対する満足度（対応が丁寧か、相談のしやすさなど）（算出方法：左記の質問に「はい」、「普通」と回答した人の割合 ）				
④満足度調査の結果等	目標	過去3年平均 約77%	実績	58%	要因
	「スタッフの対応」、「相談のしやすさ」の項目について、「とても良い」が、それぞれ4名、7名となる一方で、逆の意見も同数程度存在しており、施設の性質上、支援の受け取り方に大きく差異が生じているものと思われる。				
⑤満足度調査の結果等	▼ 施設や備品の利便性、清潔さなどに関する満足度（算出方法：左記の質問に「とても良い」、「良い」、「普通」と回答した人の割合				
	目標	昨年度より質問項目を追加 (R6:50%)	実績	78%	要因
⑥満足度調査の結果等	トイレ等の水回りや空調については、開設時（H23頃）に改修をして以降は、大規模な改修ができていないが、R7年度に廊下等について、LED化を行なったことが、満足度向上につながったものと思われる。				
	▼ 生活（食事、プライバシー確保など）に関する満足度（算出方法：左記の質問に「とても良い」、「良い」、「普通」と回答した人の割合				
⑦満足度調査の結果等	目標	過去3年平均 約61%	実績	50%	要因
	昨年度、満足度の低かった食事について、原因を把握するため、質問内容を1項目から3項目（メニュー、味、量）に細分化した結果、メニューと味がそれぞれ42%、33%、66%という結果になった。栄養面の配慮もあるため、若い世代の好みにあった食事を毎回提供するというのが難しいことが原因の一つと推察される。また、プライベートに関する満足度が低くなっている点については、施設の性質上、お風呂やトイレは共用であること、また生活指導や自立支援の観点から一定の関わりが必要であることから、こういった結果になっていると思われる。				
⑧満足度調査の結果等	▼ 支援に関する（自立のために役に立ったか）の満足度（算出方法：左記の質問に「とても良い」、「良い」、「普通」と回答した人の割合				
	目標	過去3年平均 約89%	実績	67%	要因
⑨満足度調査の結果等	施設の性質上、支援の受け取り方に大きく差異が生じてしまうことに加えて、R5までは「子供の家に住むようになってから、自立のために必要なことを少しずつでも学べていると思いますか。」という問だったが、「少しずつでも」という表現があいまいであったことから、R6から問を「施設での生活が自立のために役に立っていると思いますか。」と変更しており、そのことが、結果に影響があったと考えています。（R6実績は75%）				
	目標		実績		要因
⑩満足度調査の結果等	・施設の生活ルールに関する不満。（門限、ルールの明確化、ルールを破る児童への対応への不満）				
	・プライバシーをもっと守って欲しい。				
⑪満足度調査の結果等	・職員を増やしてほしい（もっと向き合って欲しい）				
	・食器を施設側が洗って欲しい。				
⑫満足度調査の結果等	・お弁当を作ってくれてうれしかった。				
	・職員との交流（カラオケ）が楽しかった				
⑬満足度調査の結果等	（対応策）：入所前に、自立や共同生活のために必要な施設内のルールについては本人に説明し、合意の上で入所しているため、再度趣旨を説明し、理解を求めている。				
	プライベートについては、共同生活であるという点から一定の配慮が必要である一方で、生活指導（不在時の空調や電気を切る、喫煙の指導など）や自立支援のための職員関わりに対する受け取り方は児童によって差があり、一概に判断できるものではないと認識している。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや下回る	仕様で定めた事項は履行しているが、サービスの質的に期待した水準を満たさなかったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.2 (提案をやや上回る)	48
(2)利用状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	40 点	0.8 (提案をやや下回る)	32
評価点の合計			100 点
総合評価			A

※評価点(合計)の総合評価変換

【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点

令和7年度 神戸市ひとり親家庭支援センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	母子家庭の母及び父子家庭の父並びにこれらの児童がその心身の健康を保持し、生活の向上を図るため
(2)事業内容	(1)センターの管理運営に関する業務 (2)ひとり親家庭等就業・自立支援事業に関する業務 (3)ひとり親家庭のための養育費確保支援事業に関する業務 (4)ひとり親家庭等生活指導強化事業に関する業務 (5)ひとり親家庭等日常生活支援事業に関する業務 (6)ひとり親家庭のためのふれあい等事業に関する業務 (7)その他、センターの管理運営上必要と認められる業務に関する業務
(3)施設内容	2階 会議室 3階 事務室、集会室、料理教室1、料理教室2

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	社会福祉法人神戸市母子福祉たちばな会
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由：地方自治法施行令第167条2の3 母子・父子福祉団体との随意契約）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 25,111,810円（決算額） 25,111,810円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績				
(1)管理実施状況					
①施設の維持管理業務	期待した水準を十分満たしている。				
②施設の運営業務	施設管理については、集会室等の利用受付や設備の維持管理を適切に行った。また、ひとり親家庭支援に関する業務については、各種事業の適切な実施や、LINE等を活用した積極的な情報発信を行った。				
③自主事業等	当事者団体として、ひとり親家庭が抱えるさまざまな悩みに寄り添った生活相談等の支援を行った。				
(2)利用状況					
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法：貸室利用者数と貸室を利用しない来館者数を計上）				
	目標	2294人 (昨年度実績)	実績	2277人	達成 要因 前年度の実績には及ばなかったものの、講座、相談業務、会議での集会室利用者に加え、料理教室の新規利用者もあり、必要な人に当施設を利用していただけているものとする。
	▼ 貸室利用数（算出方法：講座、相談業務、会議で使用した際の利用人数を計上）				
	目標	2100人 (昨年度実績)	実績	2111人	達成 要因 料理教室の新規利用もあり、貸室利用数は、昨年度に続き堅調に推移している。
②各種事業の参加者数	▼ ひとり親家庭等就業・自立支援事業（概要：ワンストップ就業相談、就職に有利な資格取得支援事業）				
	目標	4814人 (昨年度実績)	実績	7335人	達成 要因 2024年度から、キャリア相談から就職あっせんまでをワンストップでの支援を行ったことで参加者が増加しており、2025年度についても、引き続き相談者数は増加。また、相談者へのフォローアップ数も増加し、実績が大幅に増えているもの。
	▼ 養育費確保支援事業（概要：離婚前後講座、法律相談、養育費・親子交流等専門相談）				
	目標	425人 (昨年度実績)	実績	410人	未達成 要因 講座、法律相談、専門相談いずれも、昨年度とほぼ同数の参加者数。講座は2026年度の民法改正点も踏まえた内容で、満足度は100%と高い水準であった。各相談は1か月前には予約枠が充足しておりニーズの高さが窺える。
	▼ ひとり親家庭等生活指導強化事業（概要：ひとり親の生活基盤の一層の充実を図る講座を実施）				
	目標	532人 (昨年度実績)	実績	405人	未達成 要因 各区で実施する講座の参加人数が少なかったため、全体として参加人数の実績は昨年度比で減少。満足度は高く、ひとり親家庭の親が健康管理や将来設計、社会参加につながる知識を学び、日常生活を前向きに送るための講座を開催できていることが要因とする。
	▼ ひとり親家庭等日常生活支援事業（概要：ファミリーサポートセンター事業・ベビシッター利用料補助）				
	目標	39人 (昨年度実績)	実績	42人	達成 要因 ファミリーサポートセンター事業の利用者が適宜補助金を申請できるように、制度について情報発信を適切にできているものとする。
	▼ ひとり親のためのふれあい等事業（概要：親子のふれあい講座や交流会等の実施）				
	目標	472人 (昨年度実績)	実績	499人	達成 要因 休日を利用し親子で参加できる交流会を実施。交通手段や人手がネックとなり活動が制限されるひとり親家庭に、遠足等親子で楽しめる機会を提供し、親同士、子ども同士のふれあいにも寄与している。
	▼ ひとり親家庭からの各種相談対応（概要：ひとり親の相談対応、関連各所への案内）				
	目標	実人数147人 (昨年度実績)	実績	175人	達成 要因 精神保健福祉士の資格を持った相談員による傾聴など、質の高い相談対応ができているものとする。

令和7年度 こべっこランドの管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	児童の心身の健やかな成長を促すとともに、児童の健全な育成に関する市民活動の推進を図る。
(2)事業内容	児童の健全な遊びの場の提供及び遊びの指導に関すること、児童の発達の支援に関すること、子育ての情報の発信に関すること、児童館の運営支援に関すること
(3)施設内容	プレイルーム、赤ちゃんルーム、育成室、生活室、料理教室、造形スタジオ、音楽スタジオ、研修室、ホール

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	こべっこランド共同事業体		
(2)指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）		
(3)選定方法	公募	（応募団体数:1）	
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(単年度上限額)228,801千円	（決算額）228,801千円	

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績									
(1)管理実施状況										
①施設の維持管理業務	施設の設備保全・衛生管理等は適切に行われており、期待した水準を十分満たしている。 年4回遊具点検を行う中でクッション材など摩耗備品の入替やネット遊具の補修を実施し、安全管理に努めている。									
②施設の運営業務	健全育成事業、発達支援事業、啓発連携事業において多様な取り組みを展開し、児童の健全な育成に寄与した（詳細は別紙参照）。 水景設備について作動プログラムを変更（1時間ごとに5分→30分ごとに15分）し、利用しやすい環境を整えた。 大阪・関西万博で展示されたウォールアートを展示し、万博に行けなかったこどもにも万博にふれあう機会を提供した。									
③自主事業等	指定管理者の自主財源にて利用促進助成（貸室利用料助成・団体利用バス代等助成・イベント開催事業費助成）を実施 令和8年1月1日から駐車場料金の条例改正を行ったが、その利用者周知や事前精算機の設置等を実施									
(2)利用状況										
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法：出入口のセンサーでカウントした数値に職員や同一人物による出入り等を考慮した係数を掛けてを算出）									
	目標	実績	435,680人	要因	イベント等の実施回数の増加や、積極的なSNS広報によると考える。					
	▼ 各施設稼働日数（算出方法：各貸室の年間稼働日数の平均値）									
	目標	実績	221日	要因	イベント等の実施回数の増加（料理教室を使ったランチイベントを毎週開催）。					
②各種事業の参加者数	▼ 別紙参照									
	目標	実績		要因						
	▼									
	目標	実績		要因						
	▼									
	目標	実績		要因						
(3)収支状況										
①使用料収入	目標	—	実績	8,048千円	要因	駐車場、貸室				
②収支バランス	収入		228,801千円	支出		228,801千円	収支の差	0千円	目標	
	内訳	指定管理料	228,801千円	内訳	人件費	125,583千円	備品費	5,723千円	収支均衡している	
		その他			警備費	290千円	健全育成事業費	21,841千円		
					清掃費	8,737千円	療育指導事業費	25,701千円		
					設備費	9,506千円	啓発事業費	1,000千円		
					修繕費	2,658千円	児童館支援事業	3,746千円		
					光熱水費	8,891千円	その他	15,125千円		

(4)満足度調査の結果等				
①調査概要	調査期間: 令和8年2月1日～令和8年3月31日(計2か月間)			
	調査方法: WEB			
	回答者数: 44			
	設問数: 23			
	主な質問項目: 年齢、性別、住まい、交通手段、目的、きっかけ、利用頻度、利用時間、感想など			
②結果(満足度)	▼ サービスの満足度 (算出方法:「サービスの内容について」という設問に「大変満足」または「満足」と回答した人の割合)			
	目標	実績	96%	要因
	イベント数が多く、無料であること。また造形イベントなど定期的に内容が変わるため、こどもも飽きずに楽しめているとの声が多く聞かれた。			
	▼ 施設の満足度 (算出方法:「施設について」という設問に「大変満足」または「満足」と回答した人の割合)			
	目標	実績	98%	要因
	施設が広く、室内外で遊べ、遊具も充実していることが評価されている。いつも清潔に保たれているので過ごしやすいの声が多く聞かれた。			
	▼ 職員の対応の満足度 (算出方法:「職員の対応について」という設問に「大変満足」または「満足」と回答した人の割合)			
	目標	実績	96%	要因
	「丁寧、親切である」「はじめての利用でも声かけしてくれた」などの声が多く聞かれた。			
	▼ ○○○○の満足度 (算出方法:)			
	目標	実績		要因
	▼ ○○○○の満足度 (算出方法:)			
	目標	実績		要因
③主な意見・苦情、対応				
・イベントの抽選があたりにくいとの意見があったため、イベントの実施回数や定員を増やす等、検討を行う。				
・スタッフによって対応が異なるとの意見があったため、指定管理者へ注意喚起を行った。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	提案をやや上回る	仕様で定めていない事項を自主的に実施し、施設の設置目的に合致する効果がややあったため。
(2)利用状況	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	仕様で定めた事項を適切に履行し、提案をやや上回る効果があったため。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.2 (提案をやや上回る)	48
(2)利用状況	30 点	1.2 (提案をやや上回る)	36
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	20 点	1.2 (提案をやや上回る)	24
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			118 点
			総合評価
			AA

【別紙】実施プログラム・参加者数一覧

■健全育成事業

◆中学生プログラム ◎高校生ワークショップ ○新規事業 ◇地域連携事業

【あそび】

春休みあそびチャレンジ (6回)	858人	あそびマーケット	
GW ブロックランドスペシャル (6回)	1,555人	～じどうかん大集合！～ (1回)	1,463人
○夏休みカーモ体操 (19回)	907人	ブロックらんど (84回)	13,798人
カーモバースデー (5回)	208人	○リブロック作品コンテスト (1回)	91人
かば☆うま遊びうたライブ (2回)	315人	平日カーモたいむ (177回) 2,411組	5,507人
こべっこハロウィン (2回)	960人	休日カーモたいむ (12回) 424組	955人
○よしお兄さんとあそぼう！ (2回)	431人	◆中高生スペシャルデー (12回)	169人
		計329回	27,217人

【体力増進】

はじめて！チャレンジ教室 (8日16回)	376人	ミッションプログラム (1回)	103人
(鉄棒、跳び箱、走り方、ヘキサスロン)		ミズノ流忍者学校 (2回)	47人
親子テニス体験 (2回)	32人	屋内外遊具安全指導プログラム (24回)	231人
○テニス体験 (2回)	13人	◆HIPHOP ダンスに挑戦！ (1回)	17人
○親子 de 運動あそび (19回) 239組	526人	計67回	1,345人

【料理】

こいのぼりクッキー (2日6回)	186人	祖父母クッキングおはぎ (2日6回)	172人
カーモパン (3日6回)	190人	親子クッキングハロウィン (2回)	54人
カーモクッキー (2日6回)	168人	親子クッキング変わりどら焼き (2回)	43人
おせちかぼちゃの口取り (2日6回)	103人	◆パティシエ体験 (2回)	33人
チョコマフィン (2日5回)	143人	◇モロゾフカスタードプリンづくり (1回)	17人
和菓子(ねりきり) (2日6回)	179人	◇老祥記の豚饅づくり (2日4回)	87人
平日親子動物クッキー (14日16回)	389人	計68回	1,764人

【造形・美術】

◇芸工大ワークショップ（2日4回）	1,538人	◆木工ランタンづくり（1回）	22人
◇芸工大ウッドクラフト（3回）	1,664人	いつは先生特別プログラム（10回）	1,950人
		計18回	5,174人

【音楽】

ミュージックくらぶ（10回）	199人	おやこでドレミ（13回）146組	309人
くらぶ発表会&体験会（1回）	100人	みんなでドレミ（10日20回）	885人
◎北須磨高校コンサート（2回）	444人	ファミリーミュージック☆Day（104回）	5,256人
ドレミコンサート（2回）	341人	中高生レンタルスタジオ☆Day（33回）	59人
そうま君とあいお姉さんの クリスマスコンサート（2回）	290人	◆ドラムワークショップ（3回）	13人
		計190回	7,896人

【文化】

人形劇公演（ブーク）（2回）	295人	◆声優体験（2回）	27人
（クラルテ）（2回）	327人	○こども会議（6回）	78人
◎ニューイヤー和太鼓！（2回）	345人	○こべっこあきまつり（2回）	243人
サーカスの灯（1回）	171人	○百人一首にチャレンジ！（1回）	51人
こべっこ寄席（1回）	180人	計19回	1,717人

【環境・科学】

◎高校生による科学フェスタ（1回）	456人	こべっこ昆虫展（8回）	5,791人
◆王子動物園の飼育員さんの お話を聞こう！（1回）	20人	ネイチャーゲーム（8回）	269人
		計18回	6,536人

【児童館支援】

○親子クッキーづくり（14回）	244人	あそびプログラム（11回）	481人
○人形劇観劇（1回）	159人	計26回	884人

回数計735回 52,533人

■発達支援事業

事業・代表者名	対象	実施回数・参加人数
①極低出生体重児とその家族のための 子育て支援教室 ＜YOYO クラブ＞ 極低出生体重児育児支援 システム研究会	出生体重1,500g未満の修正 月齢3ヵ月～概ね2歳半の 乳幼児とその家族	23回 総数 35組 316人
		・30周年記念講演&同窓会 記念講演 65人 同窓会 67人
	妊婦とパートナー	・プレパパママ講座 5回 81人
②学齢期・思春期子育て講座 家族支援研究会	概ね5歳～15歳の こどもの対応に 悩んでいる保護者	・学齢期講座 12回 67人 ・思春期講座 8回 54人 ・就学前講座 3回 22人 ・フォローアップ講座 2回 18人
	行きしふり・不登校（園） のこどもの対応に悩んで いる保護者	・日曜子育て講座 1回 30人
③親と子のふれあい講座 NPO 法人 親と子のふれあい研究会	乳幼児と保護者	・赤ちゃん講座① 9回 60人 ・赤ちゃん講座② 9回 159人 ・1歳半児講座 9回 161人
	診断を受けているか 療育手帳所持の年中 年長児の保護者	・家族支援講座 7回 18人
	夜尿児と保護者	・おねしょ講座 3回 35人
④障がい乳幼児親子教室 神戸乳幼児発達研究会	0歳～3歳のダウン症児 とその保護者	・グループ指導 35回 470人 （らっこ・らっこジュニア） ・個別指導 11回 138人
⑤感覚運動指導教室 障害児教育方法研究会	3歳～10歳の 知的障がい児 発達障がい児 ダウン症児 重複障がい児 等	・感覚運動指導 前期12回 115人 後期12回 133人 ・感覚運動指導 13回 13人 ・教育相談 24回 264人 ・エール

合計200回 2,286人

	対象児	大人	きょうだい	回数	計
きらきらルーム	112人	171人	76人	12回	359人

内容	対象児	大人	きょうだい	回数	計
スマイルルーム	19人	21人	6人	3回	46人
プログラミング	17人	19人	3人	2回	39人
クッキング教室	8人	8人	2人	1回	18人
サンドイッチ教室	14人	16人	3人	1回	33人
キッズリズムボクシング	17人	20人	2人	1回	39人

合計8回 175人

内 容	対象児	大人	きょうだい	計
暑い夏を元気に乗り切る お弁当づくり	8人	10人	9人	27人
ルンルン♪プログラム 「おでかけポイントラリー」	1人	1人	1人	3人
ブラウニーとシリアル チョコレートを作ろう	4人	5人	5人	14人
フライパンとオープンで焼く 2種のピザ	5人	6人	6人	17人

合計4回 61人

◇市民講座 参加者779人

	講座名	講 師	開催日	参加者数
A	発達が気になるこどもと 家族への支援のあり方	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 氏	6月22日（日） 午前 午後	112人 108人
B	発達障がい者の特性理解と 合理的配慮	大阪教育大学 名誉教授 竹田 契一 氏	9月20日（土）	115人
C	神戸市における これからの特別支援教育	特別支援教育相談センター 担当課長 大西 道代 氏 特別支援教育士 SV 根来 あゆみ 氏	10月11日（土）	95人
D	ABA（応用行動分析学） から行動問題を考えよう！	兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三 氏	11月8日（土）	105人
E	ソーシャルスキル トレーニング（SST）	大阪医科薬科大学 LD センター 西岡 有香 氏	11月30日（日）	92人
F	TEACCH プログラム	エルムおおさか 所長 井上 芳子 氏	1月18日（日） 1月25日（日）	82人 70人

◇専門講座 参加者221人

	講座名	講 師	開催日	参加者数
G	インリアル・アプローチ	奈良県総合医療センター 永安 香 氏	6月28日（土）	58人
		日本インリアル研究会 会長 河内 清美 氏	7月5日（土）	49人
		湯里保育園 園長 富山 幸恵 氏	7月19日（土）	47人
H	言語療法 ①集団指導 ②個別指導	城陽市立ふたば園園長 言語聴覚士 松尾 育子 氏	10月4日（土） 10月18日（土）	37人 30人

合計13回 1,000人

■啓発連携事業

○新規

こどもフェスタ IN 和田宮	（1回）	830人	クリスマスイベント	（3回）	319人
兵庫運河祭	（1回）	378人	こべっこマルシェ	（1回）	750人
魚河岸デー	（2回）	770人	〇木育ワークショップ	（1回）	58人
こどもフェスタ（しあわせの村）	（1回）	雨で中止	〇江崎グリコ×神戸市離乳食講座		
高校生による科学フェスタ	（1回）	456人		（1回）	48人
こべっこ BOSAI 教室	（1回）	617人	〇ぐるりんご in 和田岬	（2回）	694人
兵庫工業高校テクノサマー	（1回）	124人	〇HUG' 展入選作品展示	（9回）	999人
トライやるウィーク	（4回）	28人	ユニバーサルスポーツ	（2回）	221人
〇おでかけハロウィン	（3回）	176人	和田岬だいすきマルシェ	（1回）	1,050人

合計 7,518人

令和7年度 神戸市立児童館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	児童福祉法第40条に基づく児童厚生施設である児童館。児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)事業内容	18歳未満の児童を対象にプログラムの実施や、子育て相談を実施
(3)施設内容	遊戯室、図書室、学童保育室、事務室等

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	別紙のとおり
(2)指定期間	別紙のとおり
(3)選定方法	公募（応募団体数: 別紙のとおり）
(3)選定方法	非公募（非公募事由: 別紙のとおり）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 別紙のとおり（決算額） 別紙のとおり

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和7年度の主な実績				
(1)管理実施状況					
①施設の維持管理業務	工作物そのものの位置や形状を変更しないもの、維持管理上必要と認める程度のもの等軽微な補修・小修繕・改修(例:照明器具、建具等の補修)等を行う。 (公共建築物定期点検等の各種点検や長期保全計画に基づく大規模修繕は所管で実施)				
②施設の運営業務	○児童健全育成事業 児童を対象にした行事の開催、児童への日々の遊びの提供・指導 ○子育て支援事業 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供 ○放課後児童健全育成事業 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を対象とした学童保育の実施				
③自主事業等	-				
(2)利用状況					
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法:				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	別紙のとおり	別紙のとおり
(2)利用状況		
(3)収支状況		
(4)満足度調査の結果等		

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点 (A×B)	
(1)管理実施状況	40 点	別紙のとおり	別紙のとおり	
(2)利用状況	30 点			
(3)収支状況	10 点			
(4)満足度調査の結果等	20 点			
※評価点(合計)の総合評価変換 【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点				
			評価点の合計	別紙のとおり
			総合評価	別紙のとおり

[illegible]

令和7年度 神戸市青少年会館の管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	青少年の健全な育成及び青少年活動の促進を図るため
(2)事業内容	・青少年のための研修会、講習会等の開催 ・青少年等の自主活動の場の提供 ・青少年及び青少年団体に関する相談及び指導 ・その他、青少年の健全な育成及び青少年活動の促進を図るために必要と認められる事業
(3)施設内容	サークル室、会議室、多目的室、フリースペース、練習室、音楽室等

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	特定非営利活動法人こうべユースネット
(2)指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	公募（応募団体数：1）
(3)選定方法	非公募（非公募事由：）
(4)R7年度 市支出額(単位:円)	協定締結額(当初) 48,000,000円（決算額） 43,847,898円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目	令和8年度の主な実績									
(1)管理実施状況										
①施設の維持管理業務	会館が入居するハーバーセンターの施設管理者の指示に従い、管理を実施した。									
②施設の運営業務	【会館管理事業】 平日は9時から21時、日曜、祝日は9時から18時まで開館し、施設の設置目的に沿った活動を推進するための場を提供している。(休館日第3月曜日及び年末年始) 【会館主催事業の実施】 ①青少年のための研修会・講習会等の開催②青少年の自主活動の場の提供③青少年及び青少年団体に関する相談及び指導など、設置目的に沿った事業を幅広く展開した。									
③自主事業等	①自然体験活動の実施②大学生ボランティア等によるユース世代を対象とする活動の支援③若者の成長を促す養成プログラムなど、小中高生を中心とする事業を幅広く実施した。									
(2)利用状況										
①施設の利用者数	▼ 入館者数（算出方法：月報集計）									
	目標	72,450人	実績	61,621人	要因	1団体毎の利用人数が想定より少なく、施設としての利用者数が伸び悩んでいる。 ・全体利用者数前年比：+2,634人 +4%				
	▼ 貸室利用率（算出方法：月報集計）									
	目標	60%	実績	60.5%	要因	30歳以下のグループが無料で各部屋を利用できることを近隣の大学やフリースペースを活用している中高生にチラシで広報を実施したこと、利用促進につなげた。 ・部屋の利用者数(フリースペース利用を除く)・・・45,195人 (前年比+1,081人・+2%) ・部屋利用件数・・・5,285件(前年比 +48件・1%)				
②各種事業の参加者数	▼ ○○事業（概要：）									
	目標		実績		要因					
	▼ ○○事業（概要：）									
	目標		実績		要因					
	▼ ○○事業（概要：）									
	目標		実績		要因					
(3)収支状況										
①使用料収入	目標		実績	914 千円	要因					
①利用料金収入	目標		実績		要因					
②収支バランス	収入		43,847,898	支出		43,847,898	収支の差		0	目標
	内訳	指定管理料	43,847,898	内訳	人件費	32,268,158				
		利用料金			管理運営経費	2,699,752				
		その他			会館主催事業経費	1,898,710				
					施設・設備維持管理経費	5,510,898				
					事務管理経費	1,470,380				

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間: 令和7年12月7日～令和8年2月15日(計2か月間)				
	調査方法: アンケート				
	回答者数: 245				
	設問数: 24				
	主な質問項目: 利用目的、満足度、職員の対応				
②結果(満足度)	▼ 利用についての満足度 (算出方法: アンケート「大変満足」「満足」と回答した数)				
	目標	過去平均90%	実績	97.5%	要因 ユースワーカーが中高生とコミュニケーションをしっかりと、利用者の意見を積極的に取り込んだため。また、利用者同士が交流できるイベントを実施しフリースペースの多様な過ごし方の環境づくりを実施したため。
	▼ 職員の対応についての満足度 (算出方法: アンケート「かなり良い」「良い」と回答した数)				
	目標	過去平均85%	実績	89.7%	要因 大学生をユースリーダーとして起用し、中高生が年齢の近い立場の人に気軽に相談できる環境を整えるとともに、職員間で中高生とのやりとりや会話などを適宜共有し、組織的な支援体制の充実を図ったため。
	▼ ○○○○の満足度 (算出方法:)				
	目標		実績		要因
	▼ ○○○○の満足度 (算出方法:)				
	目標		実績		要因
	▼ ○○○○の満足度 (算出方法:)				
	目標		実績		要因
③主な意見・苦情、対応					
「やや不満」との回答が1件あり、その理由は「うるさい」であった。また、青少年会館のSNSについて「見たことがない」と回答した者は162名に上った。一方で、「青少年会館をより多くの人に知ってもらうために効果的な方法は何か」という設問に対しては、「SNSの活用」との回答が多くを占めた。今後はより多くの人に青少年会館のSNSの存在を認知してもらえるように努めたい。					

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1倍未満)。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	提案をやや上回る	提案値等を達成したため(1倍以上1.2倍未満)

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	40 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	40
(2)利用状況	30 点	0.8 (提案をやや下回る)	24
(3)収支状況	10 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	10
(4)満足度調査の結果等	20 点	1.2 (提案をやや上回る)	24
評価点の合計			98 点
総合評価			A

※評価点(合計)の総合評価変換
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点